

## 第5回 走水小学校跡地活用検討協議会 会議録

■日 時：令和8年1月28日（水）19：00～21：00

■場 所：大津コミュニティセンター 第4・5・6学習室

■出席者：協議会委員 出席：11名、欠席1名

傍聴者 2名

FM推進課（事務局） 課 長 山中 理

主 査 土田 正和

主 任 岩崎 勝美

主 任 薄井 良真

教育政策課 課 長 飯田 達也

大津行政センター 館 長 竹内 智巳

三菱UFJリサーチ&コンサルティング 西尾真治（ファシリテーター）

■内 容：＜議題＞

学校跡地活用の検討

・協議会のゴールに向けた協議②

### 概 要

#### 1 開会

#### 2 事務局挨拶

（FM推進課長）

皆様こんばんは。本日も協議会に出席いただき、ありがとうございます。前回から年末年始を挟みまして、わずか1ヶ月程度での開催になります。

今回は、初めにこの協議会として取りまとめていただく報告書に記載する主な項目について、事務局からイメージを説明させていただきました。その上で、地域で活動いただいている「走水みらいミーティング」の活動や、走水地域と小学校のあり方について、多様なご意見をいただいたところです。

最終的には、この協議会の総意として走水小をどういう場にしていきたいかということ、今日を含めて残り2回の会議で報告書にまとめていく必要があります。皆様がお感じになっていることやご意見は今日の段階でできるだけお聞きして整理したいと思っております。

このため、今回の協議会は報告書の案を実際の冊子の形にして、どこにどのように記載されるのか、完成した報告書がイメージできるような形で資料をご準備させていただきました。

後ほど担当から説明をさせていただきますが、お気づきの点、あるいは気になる点については、ぜひ心置きなくご発言いただければと思っております。

それでは、本日もどうぞよろしくお願いいたします。

### 3 議題

#### (1) 学校跡地活用の検討

##### (事務局)

事務局が資料の内容を説明。説明の概要は以下のとおり。

#### ① 第5回の位置づけと報告書構成の確認 **資料1**

- 資料1は協議会の流れと目的であり、本日、第5回の位置づけを示している。前回、12月22日の第4回協議会では、報告書のイメージと今後の流れ、地域の将来像・コンセプト・跡地に求める機能を協議いただいた。本日はゴールに向けた協議②として、跡地に求める施設の具体案や施設運営方法について協議いただく予定でいる。
- 検討結果報告書の構成イメージは（資料1の2ページの）①～⑦のとおりで、資料2はこの流れに沿って記載している。前回、第4回協議会では（資料1の2ページの）①～⑤、本日、第5回協議会は（資料1の2ページの）⑥・⑦「施設の具体例と運営のあり方」を主として協議していただきたい。

#### ② 走水小学校跡地活用検討協議会 検討結果報告書案 **資料2**

##### ◆ 報告書の構成は以下とおり（2ページ）

- はじめに「本協議会の設置経緯や目的、協議会の進め方、報告書の位置づけ」および「本編」・「参考資料」を記載し、以下の目次としている。
  1. 「対象地・施設の概要」
  2. 「地域のあるべき将来像」
  3. 「跡地活用のコンセプト(大きな方向性)」
  4. 「跡地に求める機能(カテゴリー)と施設の具体案」
  5. 「施設運営の在り方」

##### ◆ 「対象地・施設の概要」（3ページ）

- 施設情報、敷地情報、配置図などを記載している。

##### ◆ 「地域のあるべき将来像」と「跡地活用のコンセプト(大きな方向性）」（4ページ）

- 第4回の協議内容を踏まえたもので、コンセプトとして「海と学び、人と交わる。走水・みらいキャンパス」としており、「みらい」の部分について、「みらいミーティング」の表記と合わせ、漢字表記からひらがな表記にしている。下段にはこれまでの協議会での皆様のご意見やご発言をもとに、コンセプトに込めた思いを記載した。

##### ◆ 「跡地に求める機能（カテゴリー）と施設の具体例」（5～8ページ）

- 5ページは第4回協議会までのご意見を踏まえ、施設・取り組みの具体例について、機能に沿った具体的な取り組み案を前回よりも幅広く記載している。
- 6ページは本格活用のイメージをエリア別に図面で示している。校舎、体育館、グラウンド、ほたるの里、それぞれのエリアごとに想定される活用内容を記載した。
- 7ページはそれぞれのエリアに対する機能のイメージを記載している。水色の点線の枠内は、主に地域の皆様にご利用いただくコミュニティや子育て・福祉での利用。オ

レンジ色の点線の枠内は、商業や賑わいとしての利用で、市内外から訪問者が訪れて利用。教育機能は地域の内外にまたがる性質のものと考えられるため、双方にまたがった位置としている。また、災害時や選挙の際にはこれまでどおり、地域の避難所・投票所として利用する表記としている。

- 8ページは暫定的な利用案として、一段落目には、グラウンドや体育館の地域開放や避難所・投票所といった従前から有していた機能について、暫定利用期間中も継続していくことを希望する旨を記載している。2段目以降は、本格活用までの間にトライアルを重ねることで本格活用に繋げるという趣旨を記載している。

#### ◆「施設運営の在り方」（9ページ）

- 施設運営にかかる基本的な考え方を5点記載している。
  - ・ 自立的で持続可能な運営であること
  - ・ 地域の意思を反映できる仕組みがあること
  - ・ 地域行事との連携を行うこと
  - ・ 地域の組織や人材に依存し過ぎないこと
  - ・ 「地域の交流拠点」、「居場所機能」としての役割を持たせること
- 具体的な手法としては、まずは暫定利用期間中にトライアルを実施し、その結果を本格利用に反映させていく流れを想定しており、本格利用にあたっては、市が施設を所有・管理したまま、法人格を持つ団体が指定管理者制度または貸付により運営を行う手法を想定し、その理由を下段に記載している。

### 【質疑・意見交換】

#### （ファシリテーター）

- 資料1でスケジュールの説明があったが、次回、第6回は報告書の最終確認と共有を行う予定となっている。このため、本日の協議会は実質的な協議を行う最後の場であり、追加で盛り込むべき点や細かな表現・言い回しの修正も含めて、ぜひご意見を出していただきたい。
- 資料2は、最終的な報告書がイメージできるように、実際に報告書の形で記載されており、前回の議論を受けて内容の修正や意見が反映されている。
- 4ページ上段には地域のあるべき将来像について記載されている。前回の議論の中で「賑わいやつながりがこの拠点からどんどん生まれてくるようなイメージ」を盛り込むべきとの議論があったが、それが②の「地域内外から人を呼び込み、賑わいやつながりが生まれるまち」という将来像に反映されている。
- ③の「子どもたちが未来に希望を持てるまち」は、前回あまり明確に出ていなかった子どもたちの視点について、強調したうえで追加されている。
- ④の「自然や文化が維持・調和し、持続可能性が感じられるまち」は、走水みらいミーティングでも強調されていた「持続可能なまち」という視点が反映されている。
- 4ページ下段のコンセプトについては、前回は「みらい」が漢字表記であったものを、走水みらいミーティングの表記に合わせ、ひらがな表記に変更している。
- 5ページは施設の具体案について記載しており、前回の議論で走水みらいミーティングから提案があった「市内小中学校のサテライト校舎」や「ワーケーション施設」などが追加されている。また、「子どもの居場所」や「高齢者の居場所」など、地域の人々が望む活用案を幅広くリストアップしている。実際には、すべてをいきなり実現できるか

という現実的ではないので、まずは暫定的な利用として、できるところからトライアルで実施していくという考え方が記載されている。

- 6～7ページで、前段で整理した機能について、どの場所をどのように使うのか全体をイメージしながら、8ページで本格活用までの間にすぐにでもできることを「暫定利用（トライアル）」として実施し、その中で運営上の課題を見つけ改善しながら本格運用につなげていくという考え方が示されている。トライアルを実施していく際には、地域の中で活動に意欲的な人たちを集めていくことになると思う。そういった人たちと共に活動を起こしていき、担い手を育てていくという取り組みもこのトライアルの中に含まれると思う。
- 9ページでは、施設運営のイメージが記載されている。まずはトライアルで暫定的に運用し、その中で課題を検討しながら本格活用につなげていく。その後、最終的な本格活用の際には、法人格を持つ団体による指定管理者制度または市からの貸付で運営するというイメージが記載されている。施設運営について、上段に基本的な考え方が記載されているが、「地域の方々が関わっていく仕組みがある」ということと、一方で「地域に依存しすぎない」という2点が大きな考え方として整理されている。トライアルの段階から、前段に示した考え方を持つ団体に運営を担ってもらうことを想定しながら進めていく必要があると感じた。
- 将来像の話から具体的な取り組みのイメージ、運営のあり方まで幅広く書かれているが、どの点からでもよいので、皆様からご意見をいただきたい。

#### （委員）

- 報告書としては、非常によくまとまっていると思う。
- 前回の資料には今後のスケジュールについて記載があったが、報告書には記載しないのか。

#### （事務局）

- 今回の報告書は、協議会での意見を取りまとめたものという位置づけのため、今後のスケジュールについては記載しない整理としている。

#### （委員）

- 報告書ができた後、地域がどのように関わっていけるかという点については、明確にしたほうがよいのではないかと感じた。

#### （委員）

- 5ページの施設の具体案には「歴史教育」と記載があるが、その前の4ページの「将来像」や「コンセプトに込めた想い」に「歴史」という文言が入っていない。具体的には、将来像の④を「自然・文化・歴史が維持・調和し、～」という文言に修正し、「コンセプトに込めた想い」のうち6段落目を、「さらには、地域産業である漁業や歴史・観光分野の方々とも連携し、～」という文言に修正いただきたい。

#### （ファシリテーター）

- おっしゃるとおりであるため、事務局で修正をお願いしたい。

#### （委員）

- 走水小学校と馬堀小学校が統合する際に、地域への説明会があり、「総合教育会議の意見の概要」を示していただいた。その中で、「自然環境、歴史、文化など教育資源が豊富であり、今後も活用できるようにしていただきたい」という一文が記載されていたので、「歴史」という文言を加えることについて賛成である。

### (ファシリテーター)

- 教育資源の活用ということで、総合教育会議の中で議論があったことから、地域にとって重要な観点だと思う。

### (委員)

- 5ページの「施設の取り組みの具体案」について、1番下の※印で「下線の具体案は暫定的な利用(トライアル)として取り組みやすいもの、または既に実施しているもの」と記載されているが、現時点で市としてはどのような関わりを持っているのか、それぞれの取り組みごとに教えていただきたい。

### (事務局)

- 1点目の「ほたるの里」については、地域の皆様にご協力をいただき、維持管理を継続している。2点目の「地域の活動スペース」は、主に地域のスポーツ団体へのグラウンドと体育館の開放や町内会のイベントなどで利用している。3点目の「ロケーションサービス」は、観光協会との取り決めにより、すでに実施している。4点目の「親子の遊び場、学習場所」は、現状では利用できていないが、取り組みやすい活動として挙げさせていただいた。5点目の「高齢者の居場所」についても、町内会館などで行っているような活動であれば、校舎の教室などを利用しての実施も考えられることから挙げている。6点目の「震災時避難所」については、従前から指定され運用している。

### (委員)

- すでに実施している活動に対して、市は許可を出しているという理解でよろしいか。

### (事務局)

- 許可を出している場合もあれば、ロケーションサービスのように契約を結んで行っているものもある。

### (委員)

- ほたるの里については、市はどのように関わっているのか。

### (事務局)

- 市では、ほたるの里周辺の草刈りや、水源地のポンプおよび学校まで引き込むための配管の維持管理をしている。また、ほたるの里の環境維持活動や観察会を地域で行う際に、博物館の学芸員との日程調整などの窓口も担っている。

### (委員)

- 承知した。本格的な活用が開始するまで時間がかかると思うので、引き続き維持管理などのフォローをしていただきたい。

### (ファシリテーター)

- 実際にトライアルを実施する際には、その後の本格活用時に地域の方が運営に関わりながら移行していくことを念頭に置いて実施することになると思う。必ずしも下線が引いてあるものでなくても、もし地域の皆様がやってみたいという取り組みがあれば、トライアルの活動を広げていくことも考えられると思った。

### (委員)

- 5ページの「臨海学校」は実施できる方向性で考えてよいのか。

### (事務局)

- 臨海学校については、メインとなる機能に位置付けており、ぜひ進めていきたいと考えている。

**(委員)**

- 宿泊を伴う体験学習のような施設も可能という理解でよいか。

**(事務局)**

- 宿泊を伴う場合、法令上のハードルはあるが、そこをクリアできるように検討していきたいと考えている。

**(委員)**

- 1～2泊程度の短期間の宿泊であれば許容範囲なのか。実現できれば、活用範囲が広がってくると思う。
- 別件だが、音楽関係の練習場所のような使い方は可能なのか参考にお聞きしたい。

**(事務局)**

- 現状の用途地域では不特定多数を対象とした宿泊は許容されていない。ただ一方で、規制を緩和する制度や手続きがあるので、その手法を検討していくイメージでいる。
- 音楽室ならば吸音板が貼ってあるため、音楽の練習などの利用は可能であると思う。

**(ファシリテーター)**

- 海洋教育での活用は、非常に走水らしいよい活用方法だと思うので、制約条件をどうクリアするのか課題はあるが、来年度以降も実現に向けて検討してほしい。

**(委員)**

- トライアルについて、基本的には走水地域の任意団体等が申し込みによりトライアルができるという仕組みだと思うが、例えば、下線が引かれていない取り組みであっても相談すれば活動ができるという理解でよいか。

**(事務局)**

- おっしゃるとおり、ご提案いただけるのであれば、下線がついていない取り組みであっても実施可能と考えている。

**(委員)**

- トライアルをしていく中で、実際にその後の運営をしていく法人格の団体と地域がどのように事業に関わっていくのが重要であると思う。
- これからその準備をするにあたって、法人格になりうる団体の決定プロセスに対して、地域としてどの程度まで関わってもよいのか、市として考えはあるのか。

**(事務局)**

- 地域と事業者の関わりという観点だと、まずは事業者を選定する際に、地域との関わり方に関する考え方や条件を要領に落とし込んで募集していく想定でいる。その後、事業者から具体的な提案をいただくなかで、地域と共に運営していける形を模索していくイメージでいる。

**(委員)**

- 協議会が終了すると、地域が市に対して意見をお伝えしていく場が無くなってしまおうと思っている。走水みらいミーティングが、町内の意見を吸い上げる場であったとしたら、今後は、地域が施設運営に対して何らかの接点を持つ仕組みが必要だと考えており、例えば、地域が主体となって「活用準備室」のようなものを作ることをイメージしている。
- この点について、市として意見があれば伺いたい。

### (事務局)

- 今回の報告書の中に、施設運営に関する基本的な考え方として「地域の意思を反映できる仕組みがあること」と記載しているように、「地域、事業者、市」の3者が接点を持つ場は必要になると考えている。

### (委員)

- 町内会としても協議会が終わった後、地域として意見を発信していく場が必要だと考えており、今後、具体的に話を進めていきたいと考えている。

### (ファシリテーター)

- 前回の資料の中で、少なくとも来年度、市としての案を決定する前に、地域の意見を聞く場を設けることは記載されているが、一度限りの説明会で意見を聞く場を設定するというのではなくて、継続的に地域と市でコミュニケーションを取っていきけるような仕組みが必要ではないかというご意見だった。特にトライアルをしながら本格活用に向けた運用を検討していく際には、そういった仕組みがなおさら重要だと感じた。
- 現状、市では地域の意思が反映できるという条件を付して公募により事業者を募集するという方法を想定している。それも手法の一つだが、今後のトライアルが上手くいくようであれば、そのトライアルの主体である地域の人たちが新しい団体を立ち上げて本格活用を担っていくという可能性もあると思うので、そういった視点も含めて活用の検討を進めていけるとよいと感じた。

### (委員)

- これまでの協議会で、走水小学校までに至る道路の入口にある旗山崎公園について、大型バスなどの駐車場に転用できないかという意見があったと思うが、その辺りについて、6ページの活用エリアのイメージに記載したほうがよいと考える。

### (委員)

- 走水地域全体を見ると、海上自衛隊の跡地や防衛大学の旧官舎も活用されずに残っており、それらも含めた地域の全体像について、跡地活用案の中に盛り込んでもらえるとうよいと考えている。

### (事務局)

- 走水小学校までのアクセスに関する問題については、おっしゃるとおりだと感じるので、報告書に反映させていただきたい。
- 学校以外の走水地域の全体像については、改善したいという想いはおっしゃるとおりと感じる一方で、今回の報告書については、「走水小学校の跡地活用に関する報告書」という位置づけのため、基本的には、活用に直接関連する事項を記載するという整理にさせていただきたい。

### (ファシリテーター)

- 今回の検討対象エリアは、走水小学校の跡地だが、ここでの活用が、報告書の初めに掲げている「走水地域の将来像」に繋がっていくという整理になっているので、ご理解いただければと思う。

### (委員)

- 校舎の裏に門があり、そこから岩場に降りる階段がある。さらに岩場から磯に出ることができるようになっているが、その辺りの管轄は市になるのか。

**(事務局)**

- そちらについては、市の港湾部の所管となっている。

**(委員)**

- 活用のトライアルの際に、磯に降りることができると活用の幅が広がると思うが、現状では安全面に問題があるため、仮設でもよいので、手すりなどの安全対策をしていただくことは可能か。

**(事務局)**

- 現地を確認させていただき、どのような対応が可能か検討したい。

**(委員)**

- 報告書に記載のある具体的な取り組み案は検討候補だと思うが、最終的な活用案については、市で計画を立てて、その計画が固まる前に地域に説明があるという理解でよいのか。

**(事務局)**

- おっしゃるとおり。

**(委員)**

- その辺りの今後の流れやスケジュールについては、第6回の協議会で報告書に記載されるという理解でよいのか。

**(事務局)**

- 今回の報告書については、協議会から市に提出いただくものとの位置づけのため、今後のスケジュールなどについては記載しない想定でいる。

**(委員)**

- 承知した。町内から協議会が終わった後の進め方を聞きたいという声があったので、そういった報告がいつ頃あるのか気になったので質問させてもらった。

**(ファシリテーター)**

- 次回の協議会の際に報告書とは別に、今後の流れや方針などが分かるような資料を用意いただくことは可能か。

**(事務局)**

- 承知した。報告書と併せて用意させていただく。

**(委員)**

- 本日、町内会の会合があり、その中で、現時点での計画案と計画の方向性について、第6回の協議会後に、協議会もしくは町内会から町内向けに説明会を実施する考えであることを報告したので、ご承知おきいただきたい。
- 9ページの運営手法の具体例に「市からの貸付」と記載があるが、あまりイメージが湧かないので、解説をお願いしたい。

**(事務局)**

- 前回の資料の中に「運営のあり方のパターン」を掲載させていただいており、パターンとしては、「市の直営」、「指定管理者制度」、「施設の貸付」、「施設の売却」という4つを挙げている。このうち、施設の貸付については、貸付契約を結び、民間事業者に貸し付けてご利用いただく手法である。一方で、指定管理者制度については、民間事業者が運営する点は同じだが、指定管理者制度は「市の事業」、施設の貸付の場合は、「民間の

事業」という違いがある。また、「市の直営」と「施設の売却」については、どちらも課題が多いため、選択肢になりづらいと考えている。

**(委員)**

- 5ページに示されているトライアルで実施しやすいとされる下線の活動は、実際に実施する際には、先々を見据えて、ある程度コンセプトを絞っていく必要があると思う。何を目指すかというコンセプトがあって、そこに向けてトライアルをしていくことで、施設が目指すコンセプトがより分かりやすくなるのではないかと思うので、表記について改善できるとよいと感じた。

**(事務局)**

- おっしゃるとおりだと思う。5ページの表では、「教育」をメイン機能としているが、この資料からは、教育機能のトライアルとして何を実施するか分かりづらいので、表記について整理させていただきたい。

**(ファシリテーター)**

- 教育機能をメイン機能としているが、ハードルが高い部分もあるため、こうありたいというコンセプトからトップダウン的に考えていくアプローチと、逆にできることから積み上げていくというボトムアップのアプローチもあると思うので、両側から検討しながら、落としどころを探っていく必要があると感じた。

**(委員)**

- 今の意見はおっしゃるとおりと感じる部分もあるが、一方で、簡単に実施できて、身近に感じられる活動をトライアルで行うことで、町内の人たちがより参加しやすく、取り組みに意識を向けてもらいやすくなるというメリットもあると思う。もちろん、目指すコンセプトを明確にするほうが分かりやすいとは思いますが、ハードルを上げすぎて、地域の人たちが気軽にトライアルに挑めなくなってしまう可能性もあると感じた。

**(ファシリテーター)**

- トライアルといっても、運営のためのトライアルという側面があるが、多くの地域の方に使っていただいて広く地域の人に知っていただくという側面もあり、その観点も重要な要素の1つになると感じた。

**(委員)**

- 跡地の活用の際に多くの人を訪れるとなると、トイレ環境の改善が必要だと思う。特に外トイレは、体育館横の狭い場所にしかない。また、グラウンド開放の際に、熱中症対策として日陰のベンチがあるとよりよいと感じた。

**(委員)**

- 学校の体育館が震災時避難所として指定されていることから、市内の学校体育館に空調を整備していくという動きがあると思うが、旧走水小学校の体育館にも整備してもらいたい。

**(事務局)**

- 体育館の空調については、防災機能はもちろん、跡地を活用するという観点からも支障があれば、改善していく必要があると思うので、ご意見については市の防災担当の部署に共有させていただく。

**(委員)**

- 現在設置されている遊具の老朽化が激しいので、子育て機能の一つとして新しい遊具の導入も検討いただけるとありがたい。

**(ファシリテーター)**

- 跡地活用を促進していくために必要な付帯設備についてのご意見だった。おそらく暫定利用の際にも、活動内容によっては検討が必要となってくる事項だと思う。

**(委員)**

- 9ページのトライアルや暫定利用について、基本的には「走水地域に関わる団体」から申し込みを受ける想定なのか。
- 例えば、地域の交流拠点という機能は、割と多くの方からのニーズがあると感じていて、走水だけではなく、大津地域くらいまで範囲を広げて利用いただくことも考えられると思っている。

**(事務局)**

- トライアルに関しては、これまでの協議会でのご意見を踏まえ、まずは走水地域の方に優先的に使っていただく整理にさせてもらっている。
- 利用いただく範囲についても、明確な線引きは難しいと思うが、走水小学校と馬堀小学校が統合した経緯もあるので、例えば馬堀地域まで広げることも考えられると思う。

**(ファシリテーター)**

- 走水エリアを広く見た時に、もう少しニーズの広がりがあるのではないかというご意見だった。実際にトライアルを行う中で、想定よりも広範囲にニーズがあれば、それをトライアルに含めていくことも可能性としてはあると思う。

**(委員)**

- トライアルを行うにあたって必要となる設備の整備や修繕に対する予算については、市で対応していただけるのか。

**(事務局)**

- 人件費などの運営に関する経費を補助するといった対応は難しいと考えているが、例えば、トイレや照明が壊れて使えないといった、トライアルの活動に支障がでるような設備の修繕に関しては、市で対応させていただくつもりでいる。

**(委員)**

- 今の話は建物やそれに付随する設備の修繕は対応可能だという意味だと思うが、遊具の更新については対応が難しいのか。

**(事務局)**

- トライアルの時点では遊具の更新は難しいと考えているが、トライアルを経て、本格活用をイメージした際に、遊具が必要であるということになれば、更新の可能性も考えられると思う。

**(委員)**

- スケジュールについて、市役所内で庁内案が完成するのが令和8年度の秋頃だと思うが、その時点ではかなり絞られた具体的な案になっているという理解でよいのか。また、その時点でもFM推進課が担当となるのか。

#### (事務局)

- 令和8年度中には、ある程度具体的な活用案をお示ししたいと考えている。また、庁内案のとりまとめについてはFM推進課が担当になる。

#### (委員)

- 今回の報告書案は、走水の想いが詰まったものになっていると感じた。
- ほたるの里の活動やクリスマス会などのイベントを通じて、まずは地域の子どもたちや保護者に学校が利用できることを知ってもらう必要があると感じた。
- 校舎2階の女子トイレについて、水が流れない箇所があるので、確認をお願いしたい。

#### (委員)

- トライアル期間中に多くの地域の方が利用いただくことで、今後の本格運用に向けてアイデアが磨かれていくことが重要であると感じた。
- 将来像やコンセプトについても、地域の方から出た言葉や細かい表現に配慮しながらまとめられていると思う。あとは地域の想いをどれだけ込められるかが大事だと思うので、できる限り協力していきたい。

#### (委員)

- 校舎の3～4階から見える景色は格別であり、東京湾を知らない人たちにも見栄えすると思う。その景色の中でコーヒーを飲みながら海を眺めることができる場所になるとよいと思う。

#### (委員)

- 利用する立場で考えると、駐車場の整備や小学校までの動線については非常に重要であると考えます。また、施設に興味を持ってもらうきっかけとして、魅力的なネーミングの検討も必要になってくると思う。

#### (ファシリテーター)

- 本日のご意見を踏まえ、次回の報告書の完成に向けて進めていけるとよい。
- これにて、本日の意見交換を終了とし、事務局に司会をお返しする。

### 4 事務連絡

#### (事務局)

- 事務連絡だが、次回、第6回の協議会は3月下旬の開催を予定しており、具体的な日程調整については改めて連絡させていただく。
- 別件で、学校跡地活用の先進事例である静岡県熱海市にある「AJIRO MUSUBI」への視察のご案内をさせていただいているので、ぜひご参加いただきたい。なお、本視察は田浦小学校跡地活用検討協議会との合同開催とさせていただくため、ご承知おきいただきたい。

### 5 閉会

#### (FM推進課長)

- 本日も協議会に出席いただきましてありがとうございました。本日はいつも以上に走水に対する熱い想いをご発言いただいたと感じています。

- 次回の協議会が最終回ということで予定をしていますが、場合によっては個別にお話を伺う場面があるかもしれないので、その際は、ご協力いただけますと大変助かります。
- これで本日の会議を終了します。ありがとうございました。

以上